

人と人をつなげる地域連携

横須賀市

介護付有料法人ホーム SOMPO ケア ラヴィーレ久里浜
ホーム長 篠崎 慎太郎

1. はじめに

横須賀市は全国平均よりも高齢化と人口減少が進んでいます。三浦半島の病病連携や18の地区社会福祉協議会のボランティアが盛んで、一見地域支援は充実しているように感じますが、行政の予算不足や12か所の地域包括支援センターだけでは行き届かず独居の高齢者や老老介助など様々な問題があり、その実態は、まだまだ地域支援が行き届いているとは到底言えない状況です。今回の地域連携の取り組みは、横須賀市における現状を把握した上での取り組みです。様々なボランティアや地域支援団体が古くから地元 roots に根ざしている事もあり、新たな事を実施しても継続は出来ないと想定しました。また、地域支援者達は忙しい事もあり、協力をしてもらうには時間が掛かる事も想定出来ました。

最初は、SOMPO ケア株式会社の三浦・横須賀エリアの5ホーム中心で運営をしていく事。地域の方たちをつなげていく「0次予防」のカフェを実施する事を致しました。カフェを中心として縁をつなげていき、職員や地域の方たちをつなげていった事例です。

2. 事例や取り組みの紹介

2019年2月から2020年3月の期間で年度14回の計画を立てて、SOMPO ケア株式会社の三浦・横須賀エリアの5ホーム内で月1回の0次予防を促進するカフェ「〇縁（まるえん）カフェ」を始めました。コンセプトとして、SOMPO ケア株式会社のツールを駆使して、元からある地域資源の方と共催して、繋がりを意識してという3つのコンセプトを軸に運営をしていきました。SOMPO ケア株式会社のツールを駆使してという点では、株式会社 Moff 様が開発をした最先端の介護予防、トレーニングの「モフトレ」や株式会社トータルブレイン社様が開発をした。5つの認知機能を短時間で楽しくゲーム感覚で測定し、予防できる「コグエボ」を参加者様と実施しました。元からある地域資源の方と協賛という点では、障害施設のパン屋さんや餃子屋さんにブースを出してもらいました。以前ご入居されていた方のご家族様が三浦の農家の方で新鮮な三浦野菜を提供してもらいました。訪問理美容・カフェの方に毎回豆から挽いたおいしいコーヒーを提供してもらい、地元美容関係者様がハンドマッサージを実施してくれました。日頃のレクでお世話になっている訪問洋服販売・お菓子販売の業者様にも協賛を頂きました。繋がりを意識してという点では、職員のご家族や知り合いの方に参加してもらいました。地元 roots に根ざしている職員が多く職員に声を掛けてもらい、民生委員さん、町内の方、老人会の方にも参加してもらいました。地区社会福祉協議会のボランティア様に踊りを披露してもらったり、他多数のボランティアさんにも参加してもらいました。他には、横須賀市職員、管轄地域包括支援センター職員、病院の相談室職員、社会福祉協議会職員な

どの方にも参加してもらいました。ご入居者様の自立支援という観点でコーヒーのウエイトレスをご協力頂きました。○縁カフェ専用のエプロンを作成し、ボランティアさんに身に付けてもらい一体感ややりがいを持って頂く事を意識しました。この取り組みを実施して約9か月ですが、5ホーム中、2ホームが月1回、自ホーム内でこの○縁カフェを開催しています。2019年10月に横須賀市の地域包括ケアシステムの認知症カフェに登録をして、地域を繋げる事に留まらず、認知症の方や家族の支援にもしていく事に発展していています。

3. 考察

SOMPO ケアラヴィーレ 久里浜の職員は約60名が在籍しております。一つのチームとして職員を巻き込み、体験してもらい、楽しんでもらう事を意識していきました。その結果、ほとんどの職員が認知症サポーター養成講座を受講したり、地域の様々な養成講座を受講し、それぞれが地域支援をするようになりました。ラジオ体操サポーターになった職員が自発的に行動をし、ホームを地域の方たち向けのラジオ体操の活動居場所として登録をしました。行政や病院の研修会にも積極的に参加され、様々な人と触れ合う機会が多くなりました。様々な人がホームに来訪する事も増えました。その結果、地域連携の促進に留まらず、ご入居者様の援助が丁寧になり、接遇も良くなりました。離職も減り、労務環境が適正になりました。介護業界や地域支援者はやさしい方が多く、温かい方が多いので、協力してくれる方は必ずいる事。出来る一步を踏み出す事と継続する事の重要性を痛感しました。地域のニーズを分析し、その地域に合う事を考えて行動していけば、人と人が繋がり、その繋がりが広がる事が地域連携を促進する事に必要不可欠である事であると感じました。まずは支援者同士がお互いの事を知っていく事が重要であると感じました。横須賀市の場合は、病院と福祉、福祉と福祉がお互いの事を知らな過ぎて、繋がりも弱いと感じました。職業的な地位も高いお医者様と繋がる事が今後の地域連携の鍵であると思っています。

4. おわりに

今後は、ICTやAIの導入がより加速していきます。今は大きな変化はないですが、10年後、20年後の未来を考えた時、生産性が何倍にも向上し、今のままでは人が不要になる時代もやってくると感じています。今後は、人にしか出来ない事を大切にしていける必要があると思います。それはどんな人でも尊重をし、自分と同等の価値のある人間であると認めていく事。様々な人達と触れ合い、多様な価値観を受容し、人間性を高めていく事しかないと思います。このような取り組みを継続していけば、昨今の報道の虐待や金銭の窃取などの不祥事は起こりづらくなると思っています。

その地域における状況を分析し、ニーズを掴み、出来る事から一步を踏み出し、繋がりを意識して、継続していく事が重要であると感じました。